

令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	3 年	学科	全学科	必選	選択
教科	国語	科目	論理国語	単位	2 単位
使用教材	新編 論理国語 (大修館)				
学習目標	① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ② 論理的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
単元と内容					
1 学期	・知の登山、知の水路 ・「論理的な人」とはどういう人か ・突然変異と進化の関係 ・人工の自然—科学技術時代の今を生きるために		・「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。		
			・筆者の主張をふまえ、これからの学習に興味をもつ。		
			・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。		
			・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。		
2 学期	・「考える葦」であり続ける ・【例題】米の種類と食文化 ・対話の精神 ・量の時代から質の時代へ		・筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。		
			・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。		
			・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。		
			・統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。		
3 学期	・紙の本はなくなる ・情報化と紙の本のゆくえ ・人類の進化から考える「心」の誕生		・情報化と紙の本のゆくえ		
			・具体例の役割や根拠に注意しながら筆者の主張を読み取る。		
			・問題提起と答えの関係を的確にとらえ、自分の考えをもつ。		
評 価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。			
II	思考・判断・表現	「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。「書くこと」において、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫し、説得力のある文章を書いている。			
III	主体的に学習に取り組む態度	学ぶことについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。情報を的確に比較・整理しながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。			
評価方法	観点Ⅰ		観点Ⅱ		年間時数
	1. 定期テスト及び課題テスト ①各定期テスト(年4回) ②基礎学力テスト ③夏課題テスト 2. 発表 3. 授業時のプリント		1. 定期テスト及び課題テスト ①各定期テスト(年4回) ②基礎学力テスト ③夏課題テスト 2. 発表 3. 授業時のプリント 4. レポートや作文の提出		1. 振り返りプリント
					2. 授業時のプリント
					3. 課題の提出
				予定	
				105 時間	
				実施	
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献			